

タブレット導入に関する試行レポート

～ 業務効率化の取組～

最上川下流左岸農業水利事業所では、本年6月から現場効率化のためのリモートワークツールとしてタブレットを試行的に活用することとなり、その活用状況についてご紹介します。

◎現場での活用

工事監督を行うにあたり、タブレットの利用方法をさぐりながらの活用ですが、当事業所で実際に使用した感想です。

・遠隔立会

工事現場遠隔（リモート）確認を複数人で行う際に活用しています。確認部分を画面上で拡大やズーム撮影機能により明確に確認することができ、また複数人でも確認可能なので見落とし防止につながると感じました。

・現地での契約図面等確認

タブレットに契約図書（特別仕様書、契約図書等）や各種データを保存しているので、現場立会や調査の際に当該工事の図面を確認するだけでなく、同時進行中の他工事の図面との比較にも活用しています。

これまでは事業所に戻ってから確認していたことが現場で確認できたり、たくさんの資料を持ち歩いていたのがタブレット一つで済んだりといったメリットがあると感じました。



従来の現場立会

タブレット使用した現場立会

◎その他の活用方法

上記以外にも以下の活用方法が考えられます。

- ・たくさんデータを保存できるので、図面以外にも施工管理基準や、さらには事業計画等に関する資料を保存しておく、現地でのとっさの確認に活用可能
- ・現場説明用のデータを保存しておく、来客への説明資料として使用可能
- ・メール機能や、写真・動画の撮影機能で災害等発生時に現場と事業所での迅速な情報共有が可能。
- ・現地でのインターネット接続が可能なので、災害時に現場で降雨量や河川水位の現状の把握、マップ機能による位置情報の把握検索が可能
- ・どこにいても Web 会議へ参加可能（まだ実際の使用はありません）

◎総括

タブレットの操作に不慣れなため、操作方法を理解するのが大変だと感じましたが、使い続けることで解決できると思いました。また、タブレットは立会や会議の際は Wi-Fi が必要なので、Wi-Fi 装置の充電を怠ると必要なときに使えなくなるため注意が必要です。

タブレットの活用期間はまだ短いですが活用方法はかなりあると感じました。うまく活用することで、今後の業務の迅速化、効率化、かつ現場誤認を防げるアイテムだと思いました。

<発信：最上川下流左岸農業水利事業所>